

情報公開文書

課題名 : 膵頭十二指腸切除術後の周術期経腸栄養における下痢予防の重要性

研究期間: 倫理委員会承認日～2021年2月19日

1. 研究の対象

2017年1月～2019年12月に当院で膵頭十二指腸切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

近年、手術前後の絶食期間の短縮の重要性が認識され、その管理方法は膵頭十二指腸切除術にも応用されてきています。当院では早期から経腸栄養を開始し、手術後における絶食期間の短縮に努めています。一方で経腸栄養の有害事象として下痢に悩まされることが多く、最近では下痢の予防にも注視しています。今回、膵頭十二指腸切除術後の栄養管理において発生しやすい副作用: 下痢が術後の栄養状態に悪影響を及ぼしていないかを検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

術後の排便回数記録や通常計画で行われた採血結果など

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

6. 個人情報の取扱い

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 消化器外科 大菊正人(研究責任者)

浜松市中区富塚町 328

病院代表TEL: 053-453-7111